

2026年度 大阪公立大学

小論文問題

(工学部 建築学科)

解答時間 120分

注意事項

1. 問題冊子は、監督者が「解答始め」の指示をするまで開かないこと。
2. 問題冊子は、表紙を含めて全部で6ページである。脱落のあった場合には申し出ること。
3. 解答用紙(3枚)及び下書き用紙(2枚)は別に配付する。脱落のある場合には申し出ること。
4. 解答開始後ただちに、すべての解答用紙の所定欄に、受験番号を丁寧に記入すること。
5. 解答は、すべて解答用紙の所定欄に記入すること。
6. 解答に字数の制限があるときは、句読点や記号も含めて数えること。
7. 解答以外のことを書いたときは、該当箇所の解答を無効とするときがある。
8. 問題冊子の余白は下書きに使用してもよい。
9. 解答終了後、配付された解答用紙はすべて提出すること。問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ること。
10. 本試験問題の一部あるいは全部について、いかなる方法においても複写・複製など、著作権法上で規定された権利を侵害する行為を行うことは禁じられています。

第1問 (25点)

以下の文中に描写されているシェアハウス小助川の「共同のリビング」の空間、およびある休日の夕方、そこに入居者6人(18歳女性:大学生、18歳女性:書店員、19歳男性:酒屋アルバイト店員、22歳女性:幼稚園教諭、37歳男性:レストランウェイター、40歳女性:歯科衛生士)が居合わせたときの過ごし方を想像し、そのイメージを視覚的表現手段(絵、イラスト、スケッチ、マンガ、間取り図・平面図・断面図・透視図などの図、あるいはそれらの組み合わせ)を用いて、第三者が理解できるよう描写しなさい。補足的に文字による説明や入居者間の会話等を加えてもよい。

この問いは、空間描写や人物描写を正確に描くことだけを評価するものではない。あなたが文中から読み取って想像する「共同のリビング」の空間とそこでの過ごし方のユニークさやそれを第三者に伝えるために用いた表現方法のユニークさも評価する。



(中略)



(中略)

[Redacted text block]

(中略)

[Redacted text block]

[Redacted text block]

「荻窪シェアハウス小助川」(小路幸也著、新潮社) より抜粋

第2問 (25点)

以下の文章を読み、設問に答えなさい。

資料① 暑さや和らいでも油断禁物 熱中症は湿度にも注意 最多は「屋内」

[Redacted text block]

[Redacted text block]

(中略)

[Redacted text block]

毎日新聞 2025/8/10 より抜粋

資料② 日常化する酷暑 命と暮らしを守る対策急務

[Redacted text block]

毎日新聞 2025/8/29 より抜粋

- 問1 風通しが悪く湿度が高いほど熱中症になりやすい理由、および「屋内」が熱中症の発生場所として最多になっている理由について、400字以上600字以内で説明しなさい。
- 問2 上記の理由を踏まえて、「気温が高ければ危険」という単純な図式を超え住宅における温湿度環境の留意点について、あなたの考えを400字以上600字以内で述べなさい。